

道徳学習指導案

指導者 高井 ゆき

1 日 時 平成30年 6月6日 (水) 4 校時

2 学年・組 第5学年 花組 28名

3 主題名 本当の自由 <内容項目 善悪の判断、自律、自由と責任>

4 資料名 うばわれた自由

5 ねらい 「自由」とは、自分のしたいことを自分勝手に行動するというのではなく、みんなが規律を守ることによってそれぞれの「自由」が保証されることに気づき、責任ある行動をとろうとする心情を育てる。

6 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

人として行っていくこと、社会通念として行っていくべきことをしっかりと区別したり、判断したりする力は、児童が幼い時期から徹底して身に付けていくべきものである。それとともに、より積極的に健康的な自己像を描くことができるようにすることが大切である。そのためには、何事にも積極的に取り組む姿勢が必要になるが、その原動力が自らを信じる姿勢であると考えられる、ただし、それは過信や自分勝手ではなく、よいと思ったり正しいと判断したりすることができる力を伴った自信や自律的な態度でなくてはならない。よいこと、正しいことについて、人に左右されることなく、自ら正しいと信じるところに従って、誠実かつ謙虚に行動することは、人として重要なことである。特に、価値観の多様な社会を主体的に生きる上での基礎を培うために、よいことと悪いこととの区別が的確にできるように指導しておくことは重要である。

また、自己を高めていくには何物にもとらわれない自由な考えや行動が大切である。自由には、自分で自律的に判断し、行動したことによる自己責任が伴う。自分の自由な意思によっておおらかに生きながらも、そこには内から自覚された責任感の支えによって、自ら信じることに従って、自律的に判断し、実行するという自律性が伴っていないと行かない。

(2) 児童の実態

先日実施した「自然教室・林間学習」では、「みんなが楽しかった」と思える行事にしようと、「自分勝手なことをしない。」「みんなのことを考える」等という目標を一人一人が持ち活動することができた。「静かにしよう。」「けんかをせず譲り合おう。」等、集団活動をする上での留意点について自分達で声掛けをする場面が多く見られるようになったことは大きな成果であった。

しかし、日々の学校生活を振り返ると、社会には一定の規律があり、個人のわがままは通らないと頭で理解できていても、周囲のことを考えず、自己中心的な考えで行動してしまう児童がまだ目立つ。また、自分勝手な思いで友達を傷つけてしまう場面、自分の非を認めず、相手に原因があると訴え、物事を自分の都合のよいようにしか解釈できない場面も多々ある。

本教材を通して、より豊かで充実した生き方を身に付けるためには自由であることが重要であるが、「自由」と「わがまま」の違いについてしっかりと考えさせたい。みんなが規律を守ることによって、一人ひとりの自由が保障されることに気付かせたい。

(3) 教材について

本教材に描かれているのは、わがままを「自由」と取り違えた結果、「本当の自由」を奪われた人間の姿である。「やりたいことをする」のが自由だと考えているジェラルと、「規律の大切さ」を訴えるガリユーの考えの相違を中心に取り上げ、「自由とは何か」を焦点化し、話し合わせ、ねらいに迫りたい。

また、ジェラルのような心をどんな人間も少なからず持っているということにも気付かせ、国王になって、さらに自己中心的になったことにより、国にわがままが横行し、それが自分にとっても苦しい状況をもたらせたことも捉えさせる。「自分だけに都合のよい自由はわがままであり本当の自由ではない」と言ったガリユーの言葉の意味を深く考えられるようにしたい。

7 教科・領域との関連

・総合的な学習「めざせ棚っ子リーダー」

8 考えを深め合う授業の工夫

- ・後半に本文から離れて考えを深められるように、前半部分をテンポ良く進める。
- ・班での話し合いを入れて児童同士で考えを深め合わせ、一斉指導では児童の発言に補助発問を加えながらクラス全体の考えを深めていく。

9 本時の展開

	学習活動		主な発問と予想される児童の反応	教師の働きかけ	準備物・評価
導入	価値への方付けを図る。	一斉	「自由にしていよ」と言われたら、どんな気持ちですか。 ・したいことが何でもできる。 ・楽しい。・嬉しい。	・「自由」という言葉に対してのイメージを確認する。	
展開	・資料を読む。	一斉		・「自由」とは何かを考えながら聞くことを伝える。	・短冊 ・場面絵
	・ジェラル王の気持ちを考える。	一斉	わがままし放題のジェラル王にとっての自由とはどんなものだったのでしょうか。 ・うるさい。 ・王子に逆らうのか。 ・王子はやりたいことをしていい。	・ガリユーの忠告「自分だけに都合のよいようにするのは、本当の自由ではなくわがままです。」を無視するジェラル王にとっての「自由」とはどんなものかについて考えられるようにする。	
	・本当の自由について考える。	一斉	「本当の自由を大切に」というガリユーの言葉を聞いて、ジェラル王はどんなことを考えたでしょう。 ・私は間違っていた。 ・もっと早く気付くべきだった。 ・チャンスがあるならやり直したい。	・国王になったジェラル王がさらに自己中心的になったことで、周囲にわがまものが横行し、それが自分にとって苦しい状況をもたらせたことをおさえる。	
		個別グループ一斉	「本当の自由」とは、どんなものでしょう。 ・自分勝手なことをせず、みんなのことも考えて行動すること ・ルールやきまりを守った上で、自分が思った通りにすること。 みんなが「本当の自由」を知った上で行動すると、集団はどう変わるでしょう。 ・わがままな人がいなくなる。 ・優しさが増えていく。 ・みんなが自分らしく生きていける。	・ジェラル王が、今回はガリユーの言葉をきちんと聞いていることをおさえ、ジェラル王にとっての「本当の自由」を考えさせる。	
終末	・振り返りを書き交流する。	個別一斉	今日の授業で感じたことを道徳ノートに書きましょう。	・学習を通して、考えたことを書かせ、交流させる。	・道徳ノート ※「自由」とは、自分のしたいことを自分勝手に行動するというのではなく、みんなが規律を守ることによってそれぞれの「自由」が保証されることに気付き、責任ある行動をとろうとする心情を持つことができたか。 ＜発表・道徳ノート＞
					※実践への“そっとした決意”をもたせる。 ＜道徳ノート＞

10 評価の視点

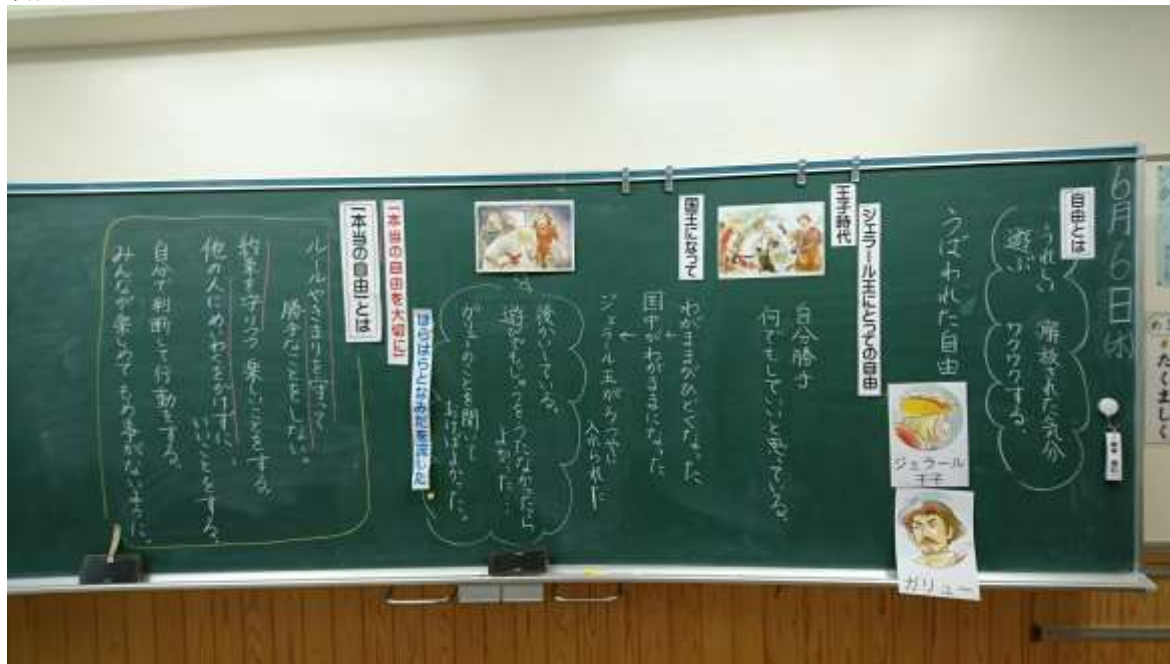
(1) ねらいに関して

「自由」とは、自分のしたいことを自分勝手に行動するというのではなく、みんなが規律を守ることによってそれぞれの「自由」が保証されることに気づき、責任ある行動をとろうとする心情を育てる。

(2) 授業の工夫に関して

- ・後半に本文から離れて考えを深められるように、前半部分をテンポ良く進める。
- ・班での話し合いを入れて児童同士で考えを深め合わせ、一斉指導では児童の発言に補助発問を加えながらクラス全体の考えを深めていく。

11 板書計画



12 道徳ノート

道徳ノート	
第18回	「うばわれた自由」
名前	月 日
書きメモ	「本当の自由」とはどんなものでしょう。
振り返り	○今日の学習で思ったことや感じたこと ○今日の学習で学んだこと
○今日の学習で学んだこと ○今日の学習で学んだこと ○今日の学習で学んだこと ○今日の学習で学んだこと ○今日の学習で学んだこと	4 3 3 2 2 1

